

製造業

●概況

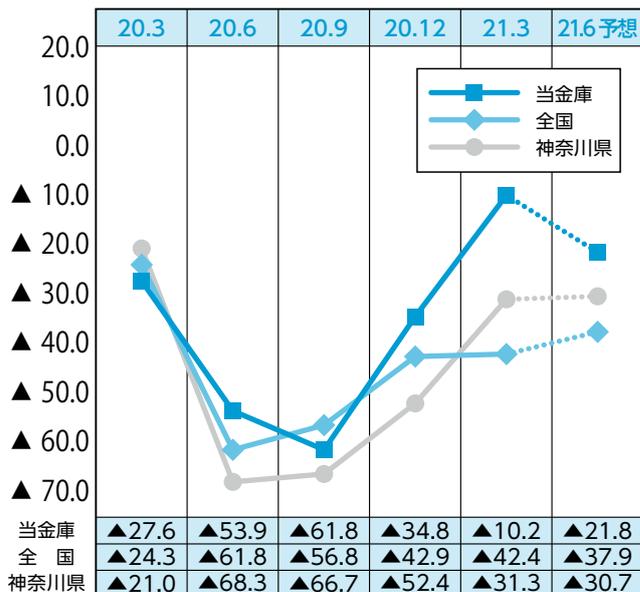
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 24.6 ポイント改善の▲10.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.9 ポイント悪化の 3.4、収益 D.I. は 11.6 ポイント悪化の▲5.7 となっております。

自動車部品や 5G 関連の需要増加を背景とした受注の持ち直しにより、景況感は 2 期連続の改善となったものの、緊急事態宣言の再発令に伴い、約 4 割の企業が営業活動自粛の影響を受けており、一部では先行き不透明による計画策定困難化を不安視していることから、景況感はマイナス域で推移しております。また既存事業の需要縮小を懸念する企業が見受けられる中、多角化や M & A の活用等による事業拡大を今後の事業展開として検討する動きもみられます。

なお、全国はほぼ横ばいの▲42.4 となっており、神奈川県は 21.1 ポイント改善の▲31.3 となっております。

来期の予想業況判断については、11.6 ポイント悪化の▲21.8 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	38.3	32.7	29.0	9.3	
当期実績	39.7	24.0	36.3	3.4	
来期予想	22.9	42.7	34.4	▲11.5	
前年同期比	28.4	28.5	43.1	▲14.7	

販売価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	+3.4	86.2	10.4	▲7.0	
当期実績	+5.6	84.2	10.2	▲4.6	
来期予想	+3.4	87.5	9.1	▲5.7	

在庫

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	12.7	85.0	2.3	10.4	
当期実績	12.5	77.3	10.2	2.3	
来期予想	+9.1	82.9	8.0	1.1	

人手

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	19.7	64.1	16.2	3.5	
当期実績	+10.2	61.4	28.4	▲18.2	
来期予想	+8.0	65.6	26.4	▲18.4	

収益

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	37.2	31.5	31.3	5.9	
当期実績	32.9	28.5	38.6	▲5.7	
来期予想	20.6	43.8	35.6	▲15.0	
前年同期比	27.2	25.1	47.7	▲20.5	

原材料価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	11.6	86.1	2.3	9.3	
当期実績	29.5	68.3	2.2	27.3	
来期予想	24.4	73.3	2.3	22.1	

資金繰り

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	13.9	64.1	22.0	▲8.1	
当期実績	18.1	58.1	23.8	▲5.7	
来期予想	11.4	66.8	21.8	▲10.4	

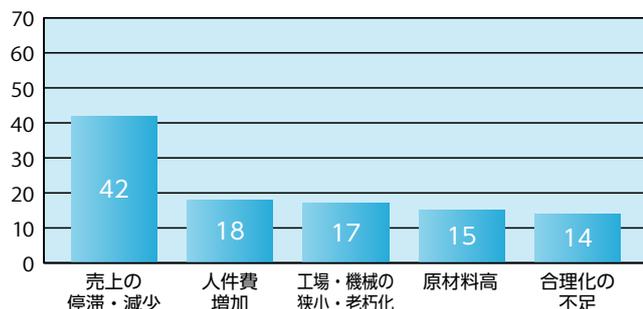
設備状況

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	13.2	72.4	14.4	▲1.2	
当期実績	+3.4	80.4	16.2	▲12.8	
来期予想	+3.5	81.1	15.4	▲11.9	

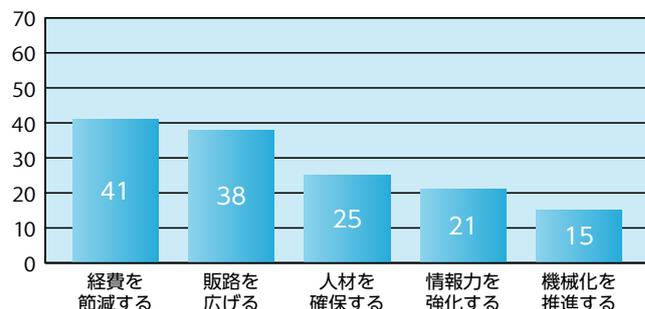
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

●概況

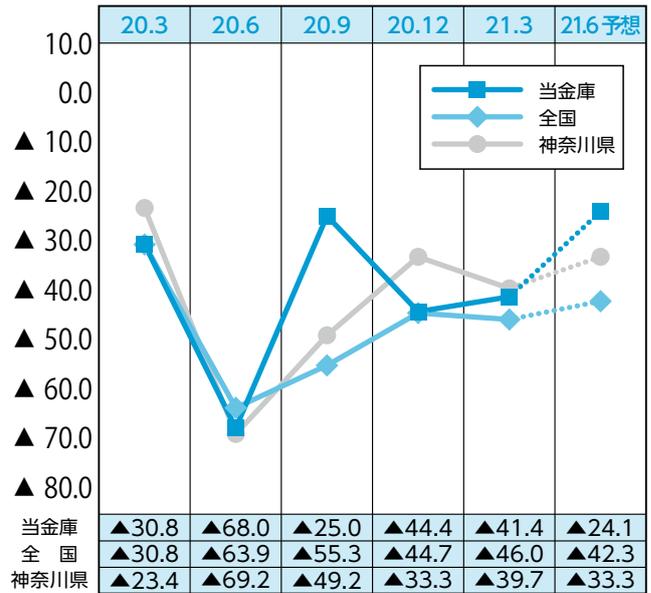
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.0 ポイント小幅改善の▲41.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 8.6 ポイント悪化の▲34.5、収益 D.I. は 2.2 ポイント小幅改善の▲31.1 となっております。

これは取引先飲食店の時短営業や休業に伴う食品卸での売上減少に加え、緊急事態宣言再発令により建材卸や機械部品卸を中心に約半数の企業が営業活動自粛の影響を受けたことから、業況判断 D.I. は 6 業種の中で最も悪化の値となっております。また一部の食品卸においては、コロナ禍において新商品開発に努める動きや事業再構築に向け BtoC への事業転換に取り組む動きも見受けられます。

なお、全国は 1.3 ポイント小幅悪化の▲46.0 となっており、神奈川県は 6.4 ポイント悪化の▲39.7 となっております。

来期の予想業況判断については、17.3 ポイント改善の▲24.1 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.8	44.5	40.7		▲25.9
当期実績	17.2	31.1	51.7		▲34.5
来期予想	24.1	48.4	27.5		▲3.4
前年同期比	27.5	13.9	58.6		▲31.1

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+3.7	96.3		3.7
当期実績	+3.5	89.4	7.1	▲3.6
来期予想	+3.5	85.8	10.7	▲7.2

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	14.8	81.5	3.7	11.1
当期実績	+10.7	82.2	7.1	3.6
来期予想	+3.5	89.4	7.1	▲3.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+3.8	57.8	38.4	▲34.6
当期実績		64.3	35.7	▲35.7
来期予想		71.5	28.5	▲28.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.1	44.5	44.4		▲33.3
当期実績	13.7	41.5	44.8		▲31.1
来期予想	24.1	44.9	31.0		▲6.9
前年同期比	27.5	17.4	55.1		▲27.6

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	22.2	74.1	3.7	18.5
当期実績	14.2	75.1	10.7	3.5
来期予想	+7.1	78.7	14.2	▲7.1

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	14.8	59.3	25.9	▲11.1
当期実績	20.6	62.2	17.2	3.4
来期予想	13.7	76.0	10.3	3.4

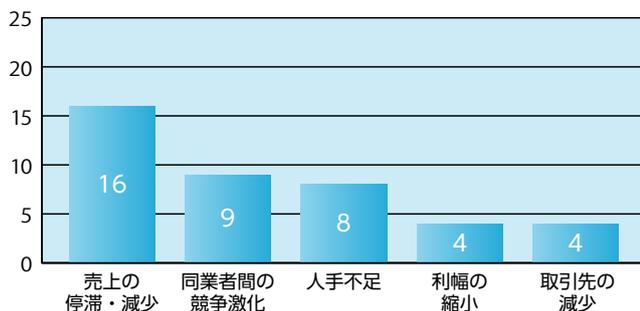
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+4.0	80.0	16.0	▲12.0
当期実績	+7.4	81.5	11.1	▲3.7
来期予想	+7.4	77.8	14.8	▲7.4

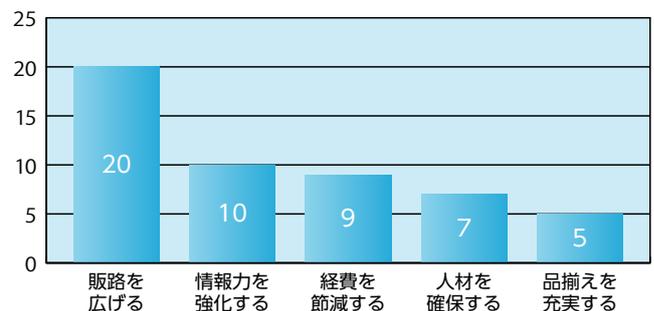
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

●概況

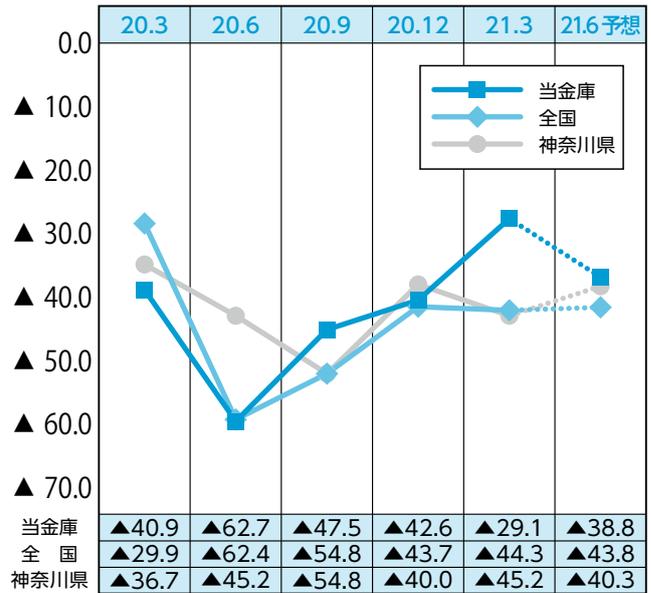
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.5 ポイント改善の▲29.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 36.9 ポイント悪化の▲43.5、収益 D.I. は 40.2 ポイント悪化の▲46.7 となっております。

巣ごもり需要の取り込みやプレミアム商品券などの需要喚起策の下支えにより、スーパーやコンビニ等の食品小売業を中心に景況感は改善に至ったものの、飲食店では時短営業要請に伴い、協力金等の支援策に頼らざるを得ず、一部では不採算店舗の見直しを検討する動きもみられることから、経営の維持に苦慮する様子がうかがえます。また客足はすぐには戻らないとする飲食店が多い中、消費税込みの総額表示の義務化による消費の動向が注視されます。

なお、全国はほぼ横ばいの▲44.3 となっており、神奈川県は 5.2 ポイント悪化の▲45.2 となっております。

来期の予想業況判断については、9.7 ポイント悪化の▲38.8 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	31.1	31.2	37.7		▲6.6
当期実績	16.1	24.3	59.6		▲43.5
来期予想	29.0	38.8	32.2		▲3.2
前年同期比	24.5	18.2	57.3		▲32.8

販売価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	6.5	85.4	8.1		▲1.6
当期実績	3.2	87.2	9.6		▲6.4
来期予想	6.4	84.0	9.6		▲3.2

在庫

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	14.7	83.7	1.6		13.1
当期実績	14.7	77.2	8.1		6.6
来期予想	11.4	85.4	3.2		8.2

人手

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	8.1	54.2	37.7		▲29.6
当期実績	11.2	64.7	24.1		▲12.9
来期予想	6.5	72.2	21.3		▲14.8

収益

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	29.5	34.5	36.0		▲6.5
当期実績	14.5	24.3	61.2		▲46.7
来期予想	24.1	45.3	30.6		▲6.5
前年同期比	21.3	19.7	59.0		▲37.7

仕入価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	16.3	80.5	3.2		13.1
当期実績	16.1	75.9	8.0		8.1
来期予想	6.4	85.6	8.0		▲1.6

資金繰り

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	8.1	67.4	24.5		▲16.4
当期実績	6.4	67.8	25.8		▲19.4
来期予想	8.0	64.6	27.4		▲19.4

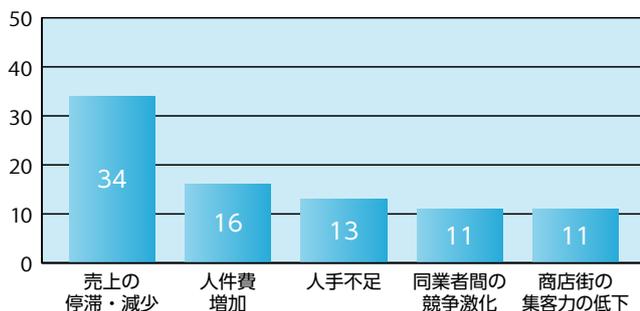
設備状況

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	3.2	78.8	18.0		▲14.8
当期実績	4.9	85.3	9.8		▲4.9
来期予想	4.9	87.0	8.1		▲3.2

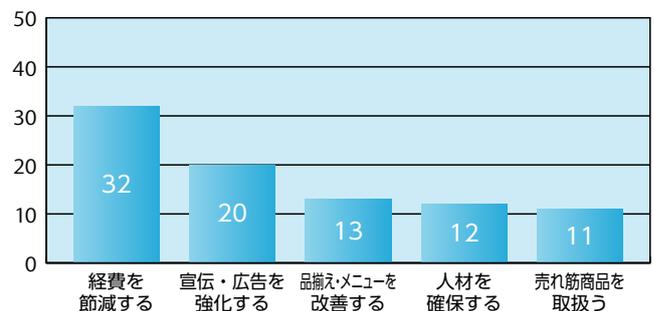
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

●概況

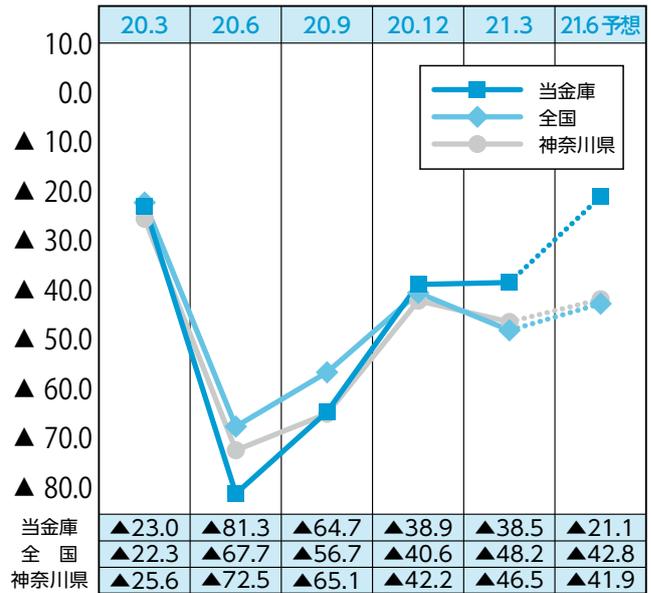
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比ほぼ横ばいの▲38.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 55.5 ポイント大幅悪化の▲42.3、収益 D.I. は 36.5 ポイント悪化の▲34.7 となっております。

緊急事態宣言再発令に伴う需要喚起策の一時停止や外出自粛の影響により、旅館業や理美容業では客足の落ち込みがみられたほか、通所介護事業所では利用を控える高齢者が増加したことから、景況感は横ばいとなっております。また一部の介護事業所においては、コロナ禍で利用者の募集に苦慮する様子が見られる中、今年度は介護報酬の改定年度となることから、自立支援・重度化防止の取組みに向けた体制づくりが課題となっております。

なお、全国は 7.6 ポイント悪化の▲48.2 となっており、神奈川県は 4.3 ポイント悪化の▲46.5 となっております。

来期の予想業況判断については、17.4 ポイント改善の▲21.1 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	37.7	37.8	24.5	13.2	
当期実績	13.4	30.9	55.7	▲42.3	
来期予想	30.7	48.2	21.1	9.6	
前年同期比	19.2	30.8	50.0	▲30.8	

料金価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	+3.8	88.6	7.6	▲3.8	
当期実績	+1.9	94.3	3.8	▲1.9	
来期予想	+3.8	94.3	1.9	1.9	

資金繰り

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	+7.5	58.6	33.9	▲26.4	
当期実績	+3.8	65.5	30.7	▲26.9	
来期予想	+3.8	67.4	28.8	▲25.0	

設備状況

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	+5.5	68.6	25.9	▲20.4	
当期実績	+5.7	67.4	26.9	▲21.2	
来期予想	+7.8	68.7	23.5	▲15.7	

収益

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	30.1	41.6	28.3	1.8	
当期実績	15.3	34.7	50.0	▲34.7	
来期予想	30.7	48.2	21.1	9.6	
前年同期比	19.2	30.8	50.0	▲30.8	

材料価格

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	11.7	84.4	3.9	7.8	
当期実績	15.3	82.8	1.9	13.4	
来期予想	11.5	86.6	1.9	9.6	

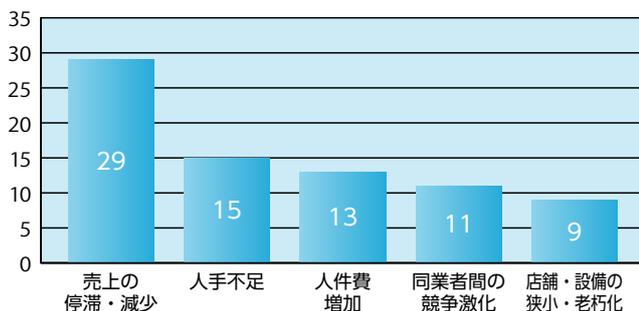
人手

	前期実績	20.3	20.6	20.9	D.I.
前期実績	+5.5	48.3	46.2	▲40.7	
当期実績	+9.6	55.8	34.6	▲25.0	
来期予想	11.5	59.7	28.8	▲17.3	

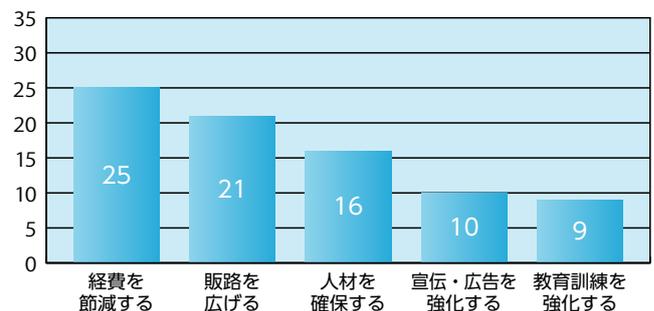
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

●概況

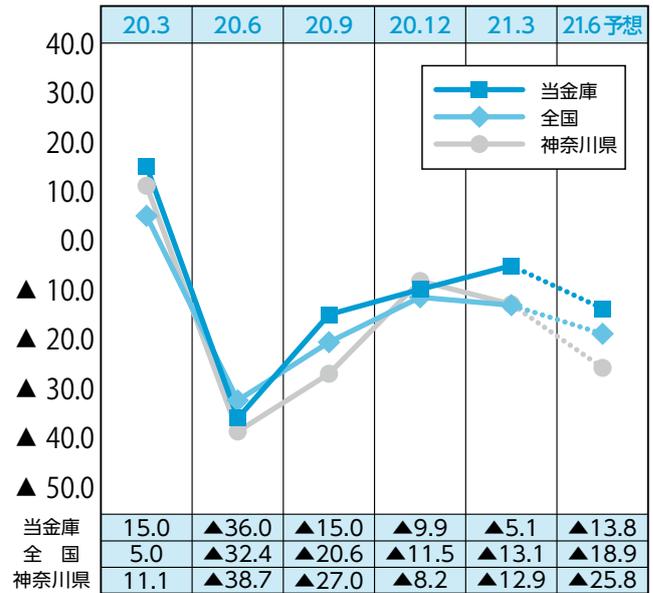
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.8 ポイント改善の▲5.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 6.9 ポイント悪化の▲13.5、収益 D.I. は 7.0 ポイント悪化の▲13.5 となっております。

一部では物流倉庫の建設に加え、住宅メーカーからの造成工事受注を確保する企業は見受けられるものの、コロナ禍における民間工事受注の減少に伴う公共工事の入札競争の激化に加え、経営上の問題点として材料価格の上昇を挙げる企業が増加していることから、景況感はマイナス域で推移しております。また慢性的な人手不足が課題となる中、一部企業においては、熟練工が手作業で行っていた工程の自動化に向け、機械設備の導入を検討する動きもみられます。

全国は 1.6 ポイント小幅悪化の▲13.1 となっており、神奈川県は 4.7 ポイント悪化の▲12.9 となっております。

来期の予想業況判断については、8.7 ポイント悪化の▲13.8 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	24.5	44.4	31.1	D.I.
前期実績	24.5	44.4	31.1	▲6.6	
当期実績	23.7	39.1	37.2	▲13.5	
来期予想	25.8	46.7	27.5	▲1.7	
前年同期比	25.4	39.1	35.5	▲10.1	

請負価格

	前期実績	+ 8.1	77.2	14.7	D.I.
前期実績	+ 8.1	77.2	14.7	▲6.6	
当期実績	+10.1	76.4	13.5	▲3.4	
来期予想	+ 8.6	74.2	17.2	▲8.6	

在庫

	前期実績	+ 4.9	90.2	4.9	D.I.
前期実績	+ 4.9	90.2	4.9	0.0	
当期実績	+ 6.7	90.0	3.3	3.4	
来期予想	+ 1.6	93.4	5.0	▲3.4	

人手

	前期実績	+ 1.6	68.9	29.5	D.I.
前期実績	+ 1.6	68.9	29.5	▲27.9	
当期実績	+ 6.7	61.1	32.2	▲25.5	
来期予想	+ 1.6	62.9	35.5	▲33.9	

収益

	前期実績	21.3	50.9	27.8	D.I.
前期実績	21.3	50.9	27.8	▲6.5	
当期実績	20.3	45.9	33.8	▲13.5	
来期予想	13.7	55.3	31.0	▲17.3	
前年同期比	23.7	47.5	28.8	▲5.1	

材料価格

	前期実績	18.0	78.8	3.2	D.I.
前期実績	18.0	78.8	3.2	14.8	
当期実績	30.5	69.5		30.5	
来期予想	22.0	78.0		22.0	

資金繰り

	前期実績	11.4	77.2	11.4	D.I.
前期実績	11.4	77.2	11.4	0.0	
当期実績	+ 8.4	78.1	13.5	▲5.1	
来期予想	+ 3.3	81.5	15.2	▲11.9	

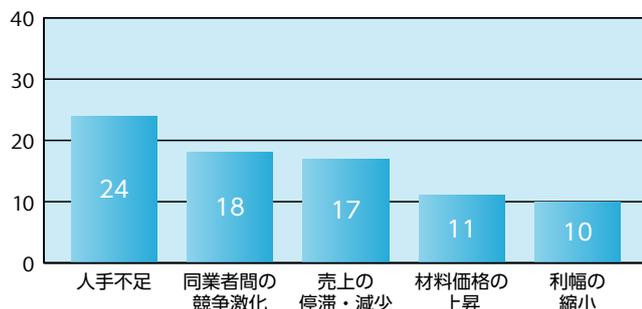
設備状況

	前期実績	+ 1.6	93.4	5.0	D.I.
前期実績	+ 1.6	93.4	5.0	▲3.4	
当期実績	+ 5.0	88.3	6.7	▲1.7	
来期予想	+ 1.6	93.4	5.0	▲3.4	

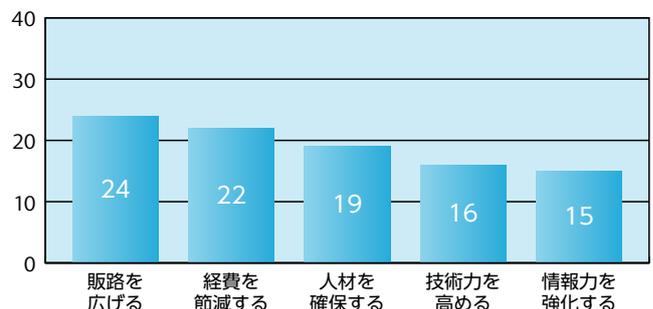
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

●概況

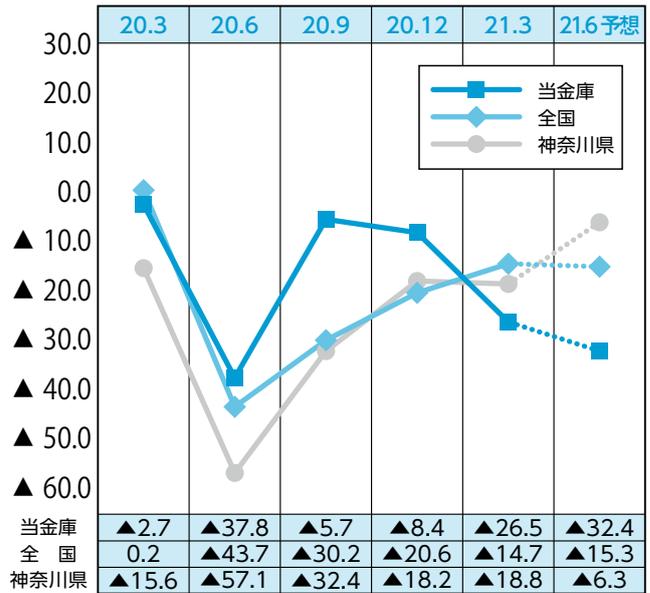
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.1 ポイント悪化の▲26.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 7.9 ポイント悪化の▲41.2、収益 D.I. は 6.8 ポイント改善の▲26.5 となっております。

緊急事態宣言再発令の影響により、賃貸管理業では学生アパートの賃貸需要の動きが鈍いとする企業が見受けられるほか、土地売買業では地主との積極的な交渉が難しく、在庫の確保に苦慮する様子がみられることから、景況感は悪化となっております。また約半数の企業が商品物件の不足を経営上の問題点として挙げる中、情報力の強化とともに優良物件の確保が課題となっております。

全国は 5.9 ポイント改善の▲14.7 となっており、神奈川県はほぼ横ばいの▲18.8 となっております。

来期の予想業況判断については、5.9 ポイント悪化の▲32.4 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.1	44.5	44.4	▲33.3	▲33.3
当期実績	+2.9	53.0	44.1	▲41.2	▲41.2
来期予想	17.6	53.0	29.4	▲11.8	▲11.8
前年同期比	11.7	41.3	47.0	▲35.3	▲35.3

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+2.7	75.1	22.2	▲19.5
当期実績	+5.8	76.6	17.6	▲11.8
来期予想	+2.9	76.6	20.5	▲17.6

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	50.0	50.0	50.0	▲50.0
当期実績	50.0	50.0	50.0	▲50.0
来期予想	44.2	55.8	55.8	▲55.8

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	75.0	25.0	25.0	▲25.0
当期実績	+2.9	82.4	14.7	▲11.8
来期予想	82.4	17.6	17.6	▲17.6

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.1	44.5	44.4	▲33.3	▲33.3
当期実績	+5.8	61.9	32.3	▲26.5	▲26.5
来期予想	14.7	58.9	26.4	▲11.7	▲11.7
前年同期比	11.7	47.2	41.1	▲29.4	▲29.4

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+8.3	83.4	8.3	0.0
当期実績	14.7	76.5	8.8	5.9
来期予想	11.7	76.6	11.7	0.0

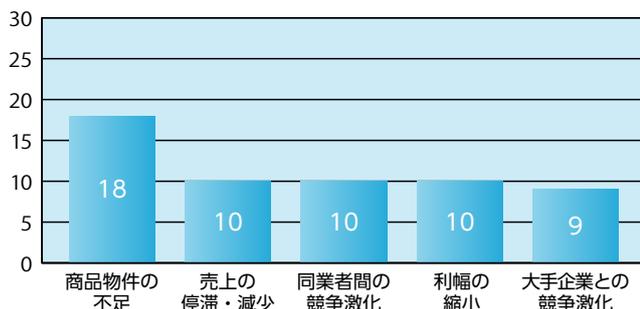
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+8.3	75.1	16.6	▲8.3
当期実績	+5.8	85.4	8.8	▲3.0
来期予想	+5.8	79.5	14.7	▲8.9

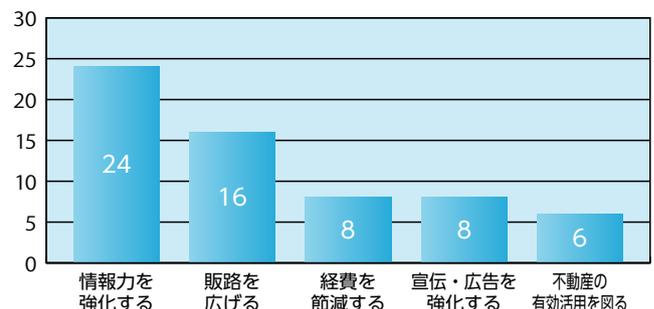
当期実績…2021年 1～3月期
来期予想…2021年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社における今期（1～3月）の売上は、新型コロナウイルスの影響により例年と比較し、どの程度影響がありましたか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- 90%以上の減少 4社
- 70%以上90%未満の減少 10社
- 50%以上70%未満の減少 24社
- 30%以上50%未満の減少 31社
- 10%以上30%未満の減少 94社
- ほぼ変化なし（10%未満の増減） 120社
- 10%以上30%未満の増加 31社
- 30%以上の増加 4社

問 2. 緊急事態宣言再発令により、貴社の事業活動はどのような影響を受けていますか。最大3つまで選んでお答えください。

- 営業活動の自粛 125社
- 国内消費の不振 95社
- 展示会、イベント、商談会等の中止・延期 85社
- 取引先の休業、操業停止等の混乱 53社
- サプライチェーン寸断等により、部品等の調達が困難 24社
- 店舗や工場等の休業、操業停止 21社
- 出社困難者の発生 8社
- インバウンド需要の低下 7社
- その他 8社
- 特に影響はなし 88社

問 3. 経済社会全体が新常態（ニューノーマル）へ移行していくなかで、貴社では、事業継続上の不安、心配、懸念はありますか。最大3つまで選んでお答えください。

- 先行き不透明による計画策定困難化 126社
- 既存事業の需要減少 65社
- 雇用の確保、維持、継続 46社
- 取引先の経営不安定化 36社
- 感染拡大防止対策の負荷増大 36社
- デジタル化、オンライン化への対応の遅れ 21社
- 事業構造転換の必要性増大 18社
- 事業承継問題への悪影響 9社
- その他 0社
- 不安、心配、懸念はない 49社

問 4. 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。最大3つまで選んでお答えください。

- 本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等） 143社
- 本業での新商品・サービスの展開 79社
- 新規事業への参入（多角化） 37社
- 副業（既存の別事業）の拡大 23社
- M&Aの活用等 14社
- 本業の海外展開（生産・販売・調達等） 8社
- 本業の縮小 8社
- 業種転換 7社
- 副業（既存の別事業）の縮小 0社
- 特になし 115社

問 5. 政府による第3次補正予算が発表されましたが、貴社では今後の事業展開の実施・検討にあたり下記補助金施策の活用予定はありますか。最大3つまで選んでお答えください。

- 事業再構築補助金 61社
- 小規模事業者持続化補助金 57社
- ものづくり補助金 46社
- IT導入補助金 34社
- その他 5社
- わからない 96社
- 利用する予定はない 108社

事業再構築補助金のご紹介

今回は、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った取組みを支援する事業再構築補助金をご紹介します。

【補助金の内容について】

対 象	1. 申請前の直近6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業等。 2. 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む中小企業等。 3. 補助事業終了後3～5年で、付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加の達成。
補助額・補助率	中小企業（通常枠） 補助額 100万円以上 6,000万円以下 補助率 2 / 3 ※緊急事態宣言特別枠は、一定要件を満たした場合に補助率を引上げ
補助対象経費	建物費、建物改修費、設備費、システム購入費、広告宣伝費等

※出展「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」（経済産業省）を加工（<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>）